

戦評用紙

平成30年度 関東高等学校バスケットボール大会 埼玉県予選会

平成30年5月18日

会 場 越谷市立総合体育館

Fコート 第 4 試合

	2 2	_____	6	
対 戦	2 4	_____	1 3	
	埼玉栄 高校			昌平 高校
	2 4	_____	2 0	
	9 4			6 0
	2 4	_____	2 1	

第1P 昌平はオーソドックスなマンツーマン、栄はハーフコートで最初からプレッシャーをかける。

出だしから栄は#23のゴール下、#13の得点で一気に昌平を突き放す。昌平は栄の積極的なDFで

点が取れない。3分過ぎ、ようやく昌平は#6が得点するが、栄は#2のシュートが当たり始める。

栄はファールが多いが、その影響は見られない。昌平が大きく離されてこのピリオドを終える。

第2P 昌平は栄の流れを止められない。早々にTOを請求するが、逆に栄#13、#30が得点する。

昌平はボールが中に入らず、外から打ってはリバウンドを取られて走られるという悪循環から抜け出せない。

栄は#2は1対1から得点を重ね続ける。栄のシュートが入り続けて後半へ。46-19栄が大きくリード。

第3P どちらもスタートメンバーに戻す。昌平は中心選手の#7がなかなかボールを持ってない。持った

としても栄のブリッツで潰され、持ち味のシュート力も発揮できない。このピリオドでも栄は#23がゴール

下で強さを見せ、流れは完全に栄。昌平は5分過ぎにようやく#7が3Pを決めるが、栄の#2に入れ

返される。栄は#2が気分よく得点し、外しても#23のリバウンドでフォローするため、攻撃に安定感が

ある。昌平は選手交代で活路を見いだしたいが、流れを変えるには至らない。

第4P ここまで押され気味の昌平だったが、このピリオドに入って少し動きが活発になる。3分過ぎ、

昌平が連続得点するが、点差も開いており、栄に焦りはない。残り4分お互いにベンチメンバーが出場。

栄はさらに残りのメンバーも出す余裕を見せ、終始安定していた栄が94-60で勝利した。

(記録者： 強 瀬 篤)